

# 地域の固有資源を活かした 参画型建築教育・デザイン教育 プログラム

建築都市学部  
住居・インテリア学科  
准教授  
諫見 泰彦



## 研究シーズの紹介

地域はその固有資源である自然環境、歴史・文化的環境、美しさ・快適さなど生活環境の多様な価値を打ち出したまちづくりに懸命です。

一方私は地域の固有資源を発掘し、教育現場に不足している臨場感あふれる現場体験を基盤とした新たな学修を企画して実践しています。

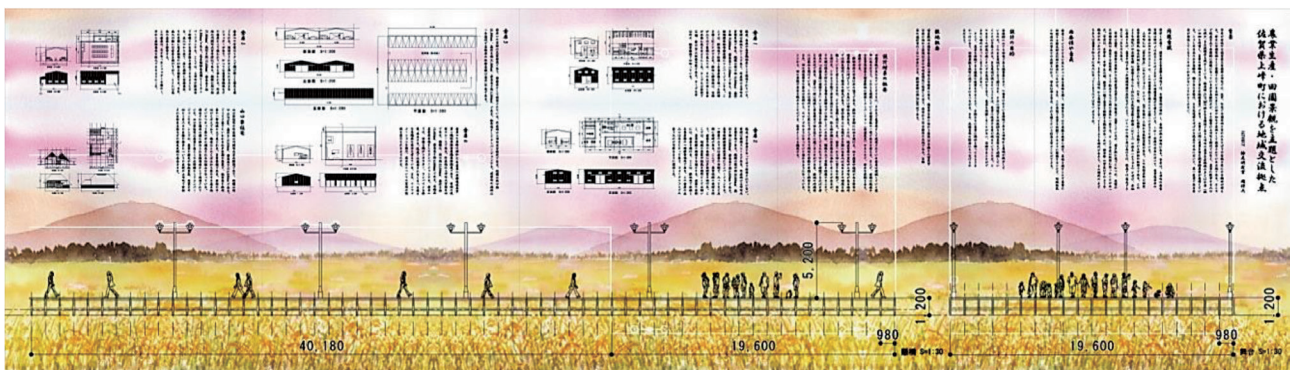
本研究では、地域との連携による相互作用から、「まちづく

り・ものづくり・いえづくり・ひとづくり」を課題とし、学修者が考えたことや作ったものが地域の役に立つ、そのことを学修者自身が実感できる、実践的な参画型建築教育・デザイン教育プログラムを創出に努めました。また創出する教育プログラムがどのような効果をあげているか、学修者の成長を学修者自身、学修関係者、地域住民が評価・検証し、今後の教育プログラム作成への還元を目指しました。



## まちづくり人財育成

●地域の固有資源を活かした参画型のまちづくり実践活動において、先導者の役割を果たす人財（人材）を育成する教育プログラムです。



### 教育プログラム実践の成果事例「農業生産・田園景観を主題とした佐賀県三養基郡上峰町の地域交流拠点」

春は、水の潤う田が鏡のように空を映し、夏は、緑の稲穂が波のように風にそよぎ、秋は、黄金色の実りが一面に光かがやき、冬は、恵多き土に集う子どもたちが遊び、その上に伝統の米多浮立の舞台が浮かぶ。

（令和元年12月、西日本新聞会館天神スカイホールにおいて提案、一般社団法人建設コンサルタンツ協会より表彰）

## 期待される活用シーン

●地域の固有資源を活かし、問題点を調査・研究して、解決策を提案してほしい。



教育プログラムを使って提案します（例：柳橋連合市場に対して、食育キッチンスクールを提案しました）。



●地域の固有資源を活かし、評価点の利活用を課題とした教育を実践してほしい。



教育プログラムを使って実践します（例：岡垣町観光協会では、波津海岸を題材に教育を実践しました）。



## その他の研究テーマ

アートコミュニケーションと地域貢献（文化庁・文化芸術による子ども育成総合事業派遣芸術家）  
サイエンスコミュニケーションと地域貢献（広島県立歴史民俗資料館、長門おもちゃ美術館）  
住民参画型のまちづくり実践（福岡県遠賀郡岡垣町役場、糸島国際芸術祭実行委員会）  
いえづくり教育用の教材開発（三好不動産、ハウスメイトマネジメント、トランスコスモス）